

官民共同利用システムとして、 安定性・信頼性の高いシステム

- ・システムの安定性、信頼性を確保するシステム更改の実現
- ・情報の適正管理と情報セキュリティの確保
- ・平成22年12月10日に発生したシステム障害を踏まえ、バックアップ機能の改善等の検討



- ・海／空統合、関係省庁システム統合後の初めての更改であり、円滑なシステム移行を確保
- ・現行NACCSと同等の稼働率の継続
- ・セキュリティ機能の見直し
- ・バックアップ機能の改善
 - ⇒ 切替時間の短縮化
 - ⇒ 関係省庁手続のバックアップ機能の追加
 - ⇒ 切替方法の改善（利用者側の作業の省略化）

公共的インフラとして、 効率性・経済性の高いシステム

- ・システムの効率性、経済性を確保するシステム構成、業務機能の見直し
- ・システム開発コストの低減化の実現
- ・関係省庁システムとの統合の見直し



- ・業務実態・利用者ニーズを踏まえた業務全般の最適化 及び 開発コストの低減化
- ・利用実態等を踏まえたオンライン業務、管理資料の一部廃止
- ・一般競争入札による調達
- ・港湾サブシステム等のNACCS統合化

総合物流情報プラットフォーム としての更なる機能の充実

- ・関係業界、利用者のニーズを業務仕様に反映
- ・貿易関連手続きの更なるペーパーレス化の進展
- ・BtoB、BtoGのポータルとして、国際的なシステム連携機能や民間システムとの連携強化の検討
- ・利用者インターフェース、ネットワークの充実



- ・利用者ニーズを十分に反映するためサブワーキングを設置
- ・損害保険業務とNACCSとの連携
- ・船腹予約業務、危険物明細書のシステム化（海上）
- ・EDI FACT、XML等の利用による国際標準への対応
- ・荷主の情報入力を最上流とする業務フローの見直し（海上）
- ・添付ファイル容量の拡大（3M→10M）
- ・WebNACCSの対象範囲の拡大